

No	ご意見の内容	本町の考え方
1	<p>10P 子ども子育て支援調査の対象者として就学前児童と小学生児童の保護者としてあるが、15Pではそのような対象者に「若者支援に関する施策」について質問し、その結果⑧や⑨の回答が「わからない」が一番多くなっています。これは当然だと思います。若者支援について対象者を変えて調査しなかったのはなぜでしょうか？</p>	<p>ご指摘のとおり、就学前児童と小学生児童の保護者を対象とした調査で、若者支援に関する施策についての質問を行った結果「わからない」という回答が多かったことは承知しております。</p> <p>この調査は、第3期藍住町子ども・子育て支援事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的としており、計画の対象となる全ての子ども（0～18歳未満）と子育て世帯のニーズを把握する必要性がありました。そのため、子育て支援に関する課題や教育・保育、子育て支援サービスへのニーズを幅広く把握するために、このような対象者設定となり、また連携した計画として地域福祉計画や障がい児計画などを含めた支援についてニーズ調査対象世帯のご意見をいただくため実施いたしました。今後の調査においては、若者支援に関する施策については、若者自身や若者に関わる関係者を対象とした調査をこども計画の策定の検討などを踏まえて、よりの確な支援の把握に努めてまいります。</p>
2	<p>P17 こどもの生活調査についての対象者が5年生と中2生なのはなぜでしょうか？ヤングケアラーについて調査しなかったのかと思いますが、もっと対象を広げるべきではないでしょうか。</p>	<p>こどもの生活に関するアンケート調査は、藍住町の未来を創る子どもたちの健やかな成長を支え、将来の可能性をより高めるために、こどもの生活実態や家庭の状況を含めた子育て世帯の生活環境・経済状況を調査し、子育て支援施策の充実を図るための基礎資料を得ることを目的としています。小学5年生と中学2年生を対象にしたのは、この時期が子どもたちの生活環境や意識が大きく変化する時期であり、より具体的な課題やニーズを把握できると考えたためです。また、ヤングケアラーに関する調査も、この年齢層であれば実態を把握しやすいと考えました。しかし、ご意見を踏まえ、今後はより広い年齢層を対象とした調査や、ヤングケアラーの実態をより詳細に把握するための専門的な調査も検討し、より適切な支援策の策定に努めてまいります。</p>
3	<p>P30 家族が自分を大切にしている、友だちから好かれている、について自己肯定感や社会的つながりの必要性との記述ですが、31P、32Pで目指す姿や、取り組み事業の個別施策にはそれに対応するものがありませんでした。どれか分かりませんでした。どれが対応しているのですか？</p>	<p>自己肯定感や社会的つながりの必要性に対応する施策として、以下のものが挙げられます。</p> <p>◆子どもの健やかな成長への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○育児相談・発達相談：子育ての不安や悩みを持つ保護者に対し、専門家が相談に応じ、精神的なサポートを行います。</li> <li>○早期支援：発達に課題のある子どもに対し、早期からの適切な支援を行うことで、自己肯定感を育みます。</li> </ul> <p>子どもたちの自己肯定感や社会的つながりの支援は、子育て当事者が子育てに対する悩みなどを抱え孤立していきやすいことを予防することが必要です。そのため、基本目標2の施策については、子育て当事者が子どもにとって健やかに心豊かに成長できる環境づくりの課題として捉えています。</p> <p>以下は、藍住町が関係機関と連携し実施していく施策となります。</p> <p>◆教育の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育の充実：学校が学びの場であるとともに、子どもたち一人ひとりの成長を支える居場所となるよう、教育環境の整備を強化します。</li> <li>○福祉教育の推進：地域社会との交流やボランティア活動などを通して、社会性を育み、自己肯定感を高めます。</li> </ul> <p>◆子どもの居場所づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童館の運営：児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操や創造性を豊かにすることを目的とする児童厚生施設であり、地域の児童の自主性・社会性を高め、健全育成に必要な活動をする場を提供します。</li> </ul> <p>これらの施策は、子どもたちが地域社会とのつながりを持ち、自己肯定感を育みながら成長できるよう、総合的に支援することを目的としています。</p>
4	<p>P33 現状はその通りだと思いますが、課題がなぜ学校生活の充実と教育環境の整備の強化ということになるのかが分かりません。</p>	<p>現状分析において、学校生活が楽しめない子どもや、将来の夢や目標を持ってない子ども、頑張れば良いことがあると感じられない子どもがいるという課題が明らかになりました。これらの課題に対し、学校生活の充実と教育環境の整備を強化することは、以下のような効果が期待できるためです。</p> <p>◆学校が楽しいと感じられるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内容の充実：学びの楽しさや達成感を味わえる授業を提供することで、学習意欲を高めます。</li> <li>○人間関係の構築：友達や先生との良好な関係を築けるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を通じて支援していきます。</li> </ul> <p>◆将来の夢や目標を持てるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化・芸術・スポーツ活動の振興：様々な職業や生き方を知る機会を提供することで、将来の目標を持つきっかけを作ります。</li> </ul> <p>これらの取り組みを通じて、子どもたちが学校生活を充実させ、将来への希望を持って成長できるよう、教育環境の整備を強化していく必要があると考えております。</p>
5	<p>第3期藍住町子ども・子育て支援事業計画を拝読し、P46の1(1)①ウ.企業主導型保育事業（町内に設置なし）となっていました。藍住町内にも当社では1園企業主導型保育事業を行っていますので、何卒よろしく願いいたします。</p>	<p>ご指摘いただいた箇所については誤記でございますので、訂正いたしました。</p>